

天橋だより 2026/初秋号

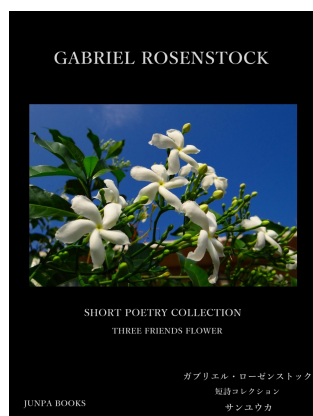
☆これを書いている今もテレビでは福井に豪雨災害のアラートを出しています。次々に確実に起きる大規模災害。もう他人事ではありません。なんとかして生き抜きたいです。9月1日、これは関東大震災の日で「防災の日」です。皆様のご安全を祈ります。（編集室）

☆（報告）天橋アンソロジー「響き合う天橋詩人」朗読会全四回実施のうち第一回めとして8月23日19時より「天橋の夏」を行いました。海外よりスペインからジャーメイン・ドルーゲンブロートが出演、JUNPAの創立にまで遡りスピーチをいただき15周年を祝っていただきました。次回「天橋の秋」は10月。どなたでも視聴できます。

☆新刊案内



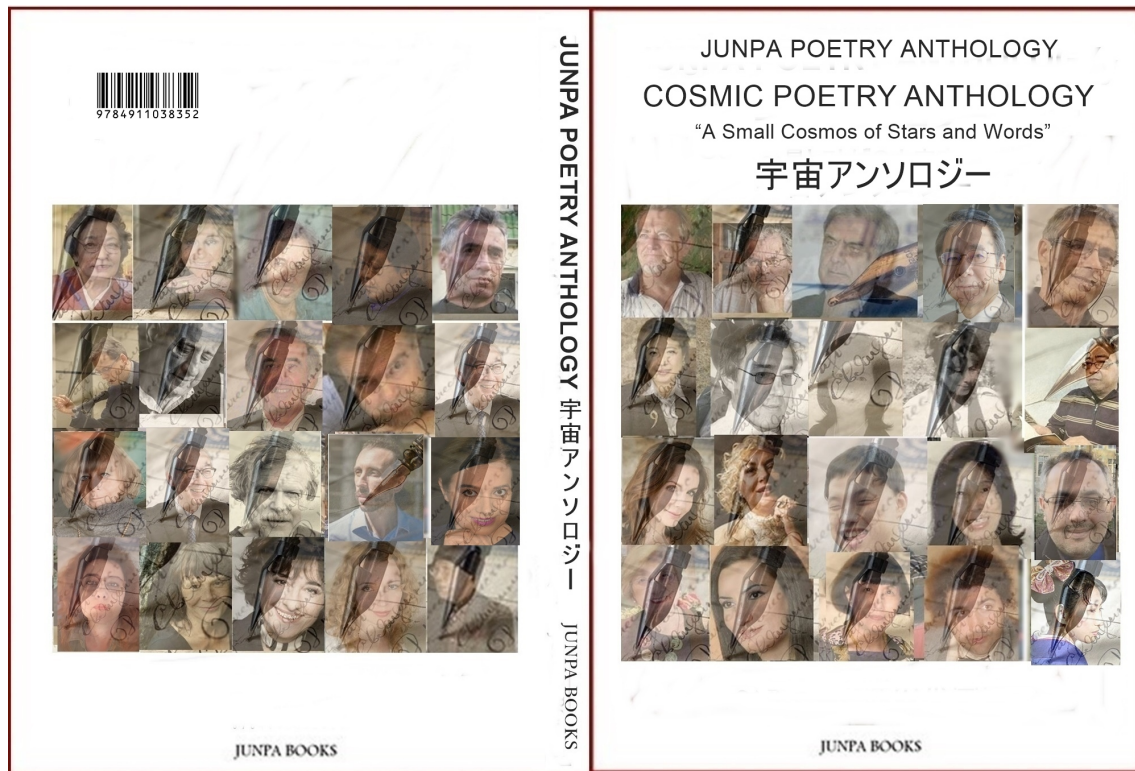
Duet of Bookmarkers 葉の二重奏、韓国のヤン・グムヒ女史とマキ・スターフィールドが思索を留めおく葉のような詩を寄せ合い、響かせあう詩集。韓国でも同時出版を企画され日韓の詩の交流に意欲を示されている。これを機会に新たに活動を始めたい。アマゾン kindle 発売中。



ガブリエル・ローゼンストックが亡くなる一週間前に校正の了を返信された最後の作品。これまでの俳句、短歌は絵画にインスパイアされて書かれた新しいジャンルであり、本書は313ページの大作。総カラー版（冊子は特注で5000円）アマゾン kindle 発売中
既刊の「揺れる愛」「銀の樺」も所収されている。
ガブリエルとサラ・ティリコウ（ギリシャの翻訳家）、すみくらまりこの三人の翻訳チームの友情をサンユウカ（インド固有の花）になぞらえ編集をした。

☆刊行予定

宇宙アンソロジーは40名の寄稿を得まして、ただいま編集中です。9月末に原稿を締切、校正に入ります。校了は12月25日、発行は1月20日頃を目指しています。



AUTHORS

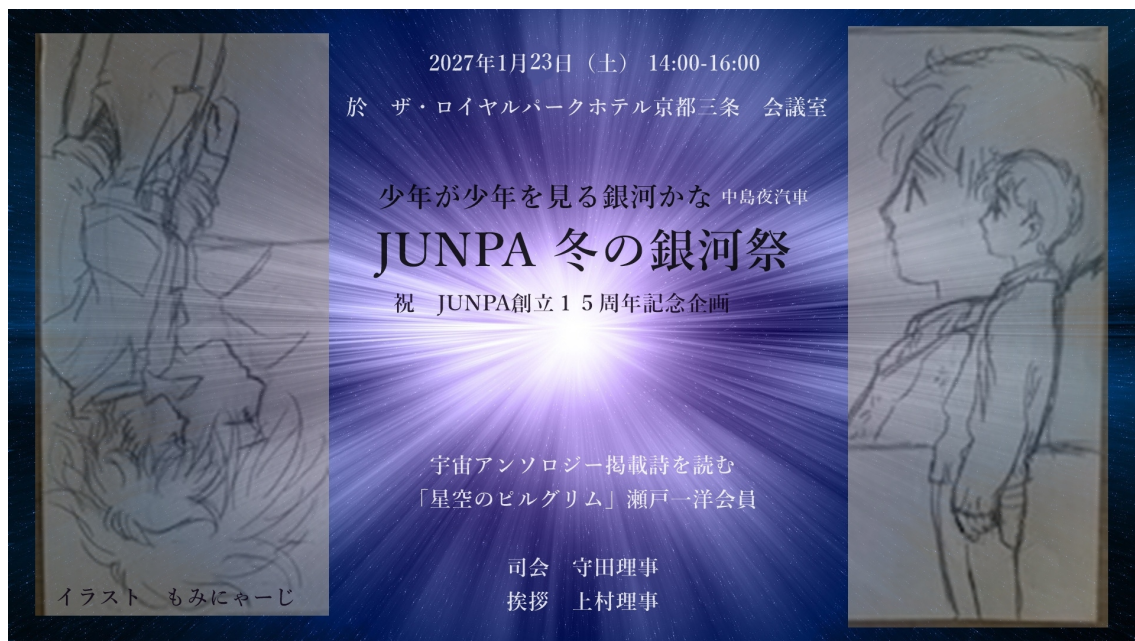
- 1 Gabriel Rosenstock (Ireland)
- 2 Germain Droogenbroodt (Belgium/Spain)
- 3 Dante Maffia (Italy)
- 4 Takashi Arima (Japan)
- 5 Tatsuo Murata (Japan)
- 6 Taeko Uemura (Japan)
- 7 Masaru Morita (Japan)
- 8 Kikumi Shimoda (Japan)
- 9 Viacheslav Kupriyanov (Russia)
- 10 Donatella Bisutti (Italy)
- 11 Mariko Sumikura (Japan)
- 12 Chiyo Kitahara (Japan)
- 13 Hitoshi Namino (Japan)
- 14 Ikuyo Yoshimura (Japan)

- 15 Akutis Gianpietro (Italy)
- 16 Helen Cardona(USA)
- 17 Clelia Ifrim (Romania)
- 18 Takahiko Shimizu (Japan)
- 19 Simone Pansolin (Italy)
- 20 Yui Tsukasa (Japan)
- 21 Sarah Thilykou (Greece)
- 22 Armenuhi Sisyan (Armenia)
- 23 Dimitar Anakiev (Bulgaria)
- 24 Paula Barsan (Romania)
- 25 Merlie M. Alunan (Philippine)
- 26 Amir Or (Israel)
- 27 Michael Augustin (Germany)
- 28 Momijaaji (Japan)
- 29 Natalia Fernandez (Spain)
- 30 Chiaki Hamada (Japan)
- 31 Laura Garavaglia (Italy)
- 32 Lidja Chiarelli (Italy)
- 33 Narlan Matoz (Brazil)
- 34 Juri Talvet (Estonia)
- 35 Pia Tafdrup (Denmark)
- 36 Seto Kazuhiro (Japan)
- 37 Shaip Emërllahu (Albania)
- 39 Marius Chelaru (Romania)
- 40 Lily Multatuliana(Indonesia)

☆来年は「宇宙の年」として位置づけ、宇宙アンソロジーを読む朗読会を会場にて行います。冬の銀河祭、夏の銀河祭です。お楽しみにお待ちください。

冬の銀河祭は1月23日に予定しています。東京の瀬戸一洋会員が星空のピルグリムで映写しながらお話されます。参加費 3000 円（飲物付）

夏の銀河祭は7月10日に予定しています。「美しい日本語で詩を聴く会」が第15回を迎えることと、JUNPA 15周年を兼ねてお祝いします。参加費 3000 円（飲物付）



☆会費のご案内

2026 年度の会費 5000 円は下記まで納入いただけますようお願いいたします。
未納や連絡切れの場合は退会とみなされる場合がありますので、必ずお願い
します。

ゆうちょ銀行	京都中央信用金庫
ゆうちょ銀行間同士 【記号】14400 【番号】44671231 他行から振込みの場合 【店名】四四八（読み ヨンヨンハチ） 【記号】14400 【種目】普通 【口座番号】4467123 【名義】日本国際詩人協会	【支店名】丸太町支店 【店番】032 【口座番号】0701217 【名義】日本国際詩人協会
ペンネームと振込名が違う場合、入会金、他の代金、また前年度未納分と一緒に振り込まれる際には明細をご一報ください。	同左

発行日 2026/9/1 事務局: 引越などで郵便物が届かない場合は連絡先を事務局にお知らせください。あて先は sumikura@grace.ocn.ne.jp です。 京都市上京区西丸太町185-801